

中小企業景況調査(2014年12月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、4カ月連続でプラス
売上げ見通しDIは、6カ月連続でプラス

1 売上げ

2014年12月の売上げDIは、前月(2.2)から上昇し、5.2となった。プラスとなるのは4カ月連続である。

今後3カ月(12月~2月)の売上げ見通しDIは、前月(12.3)から低下し、8.6となった。プラスとなるのは6カ月連続である。

2 利益

利益額DIは、前月(3.5)から低下し、▲3.1となった。マイナスとなるのは5カ月ぶりである。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(0.0)から上昇し、2.4となった。仕入価格DIは、前月(19.0)から上昇し、23.2となった。

従業員判断DIは、前月(7.2)から低下し、4.8となった。

生産設備判断DIは、前月(▲9.5)から上昇し、▲8.2となった。上昇は5カ月ぶりである。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

調査時点	2014年12月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
有効回答企業数	598社
回答率	66.4%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

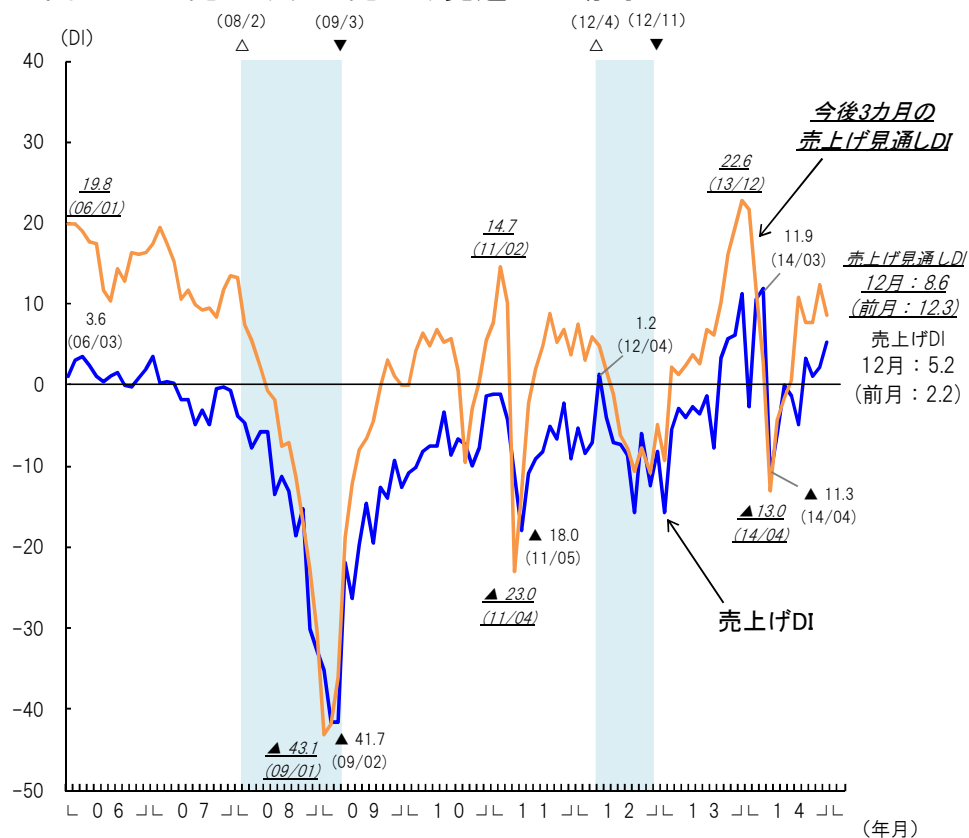
○売上げDI(「増加」-「減少」)は、5.2と、前月から3.0ポイント上昇した。

○売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、8.6と、前月から3.7ポイント低下した。

○利益額DI(「増加」-「減少」)は、▲3.1と、前月から6.6ポイント低下した。

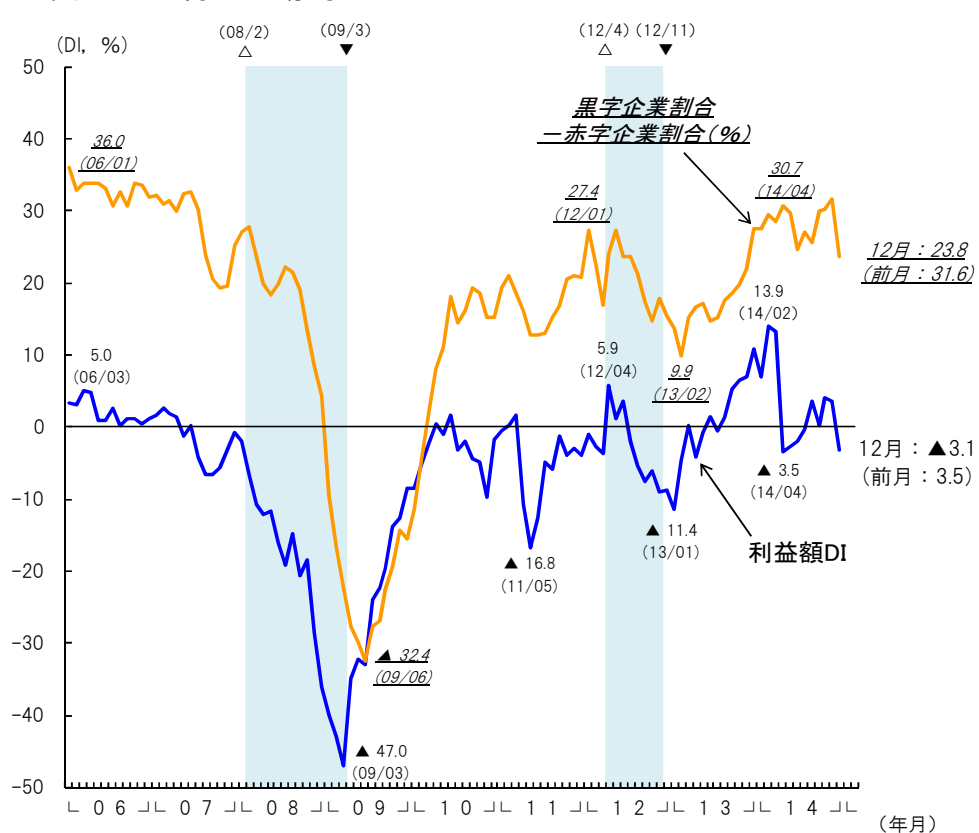
○黒字-赤字企業割合は、23.8と、前月から7.8ポイント低下した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

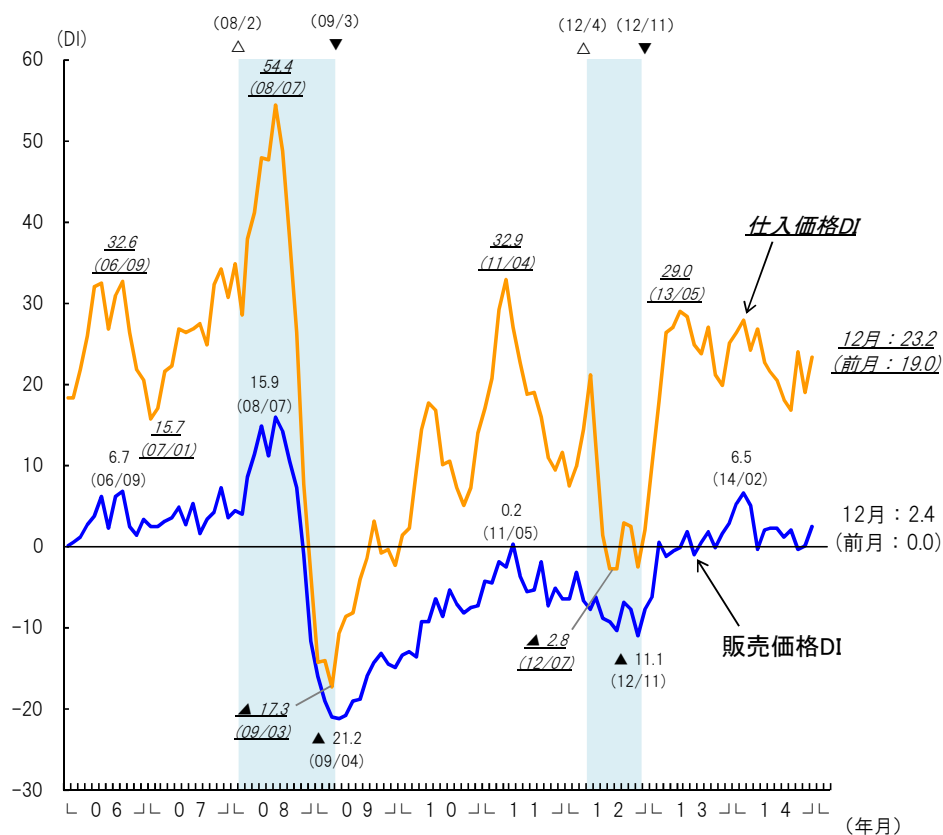
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

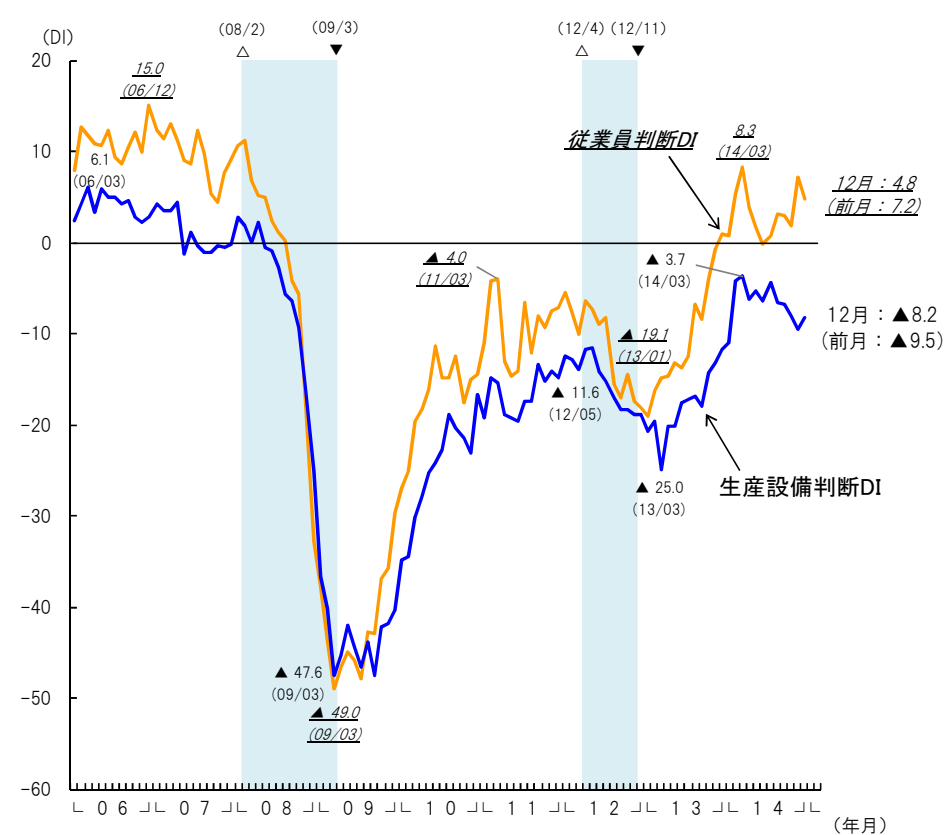
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、2.4と、前月から2.4ポイント上昇した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、23.2と、前月から4.2ポイント上昇した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、4.8と、前月から2.4ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲8.2と、前月から1.3ポイント上昇した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

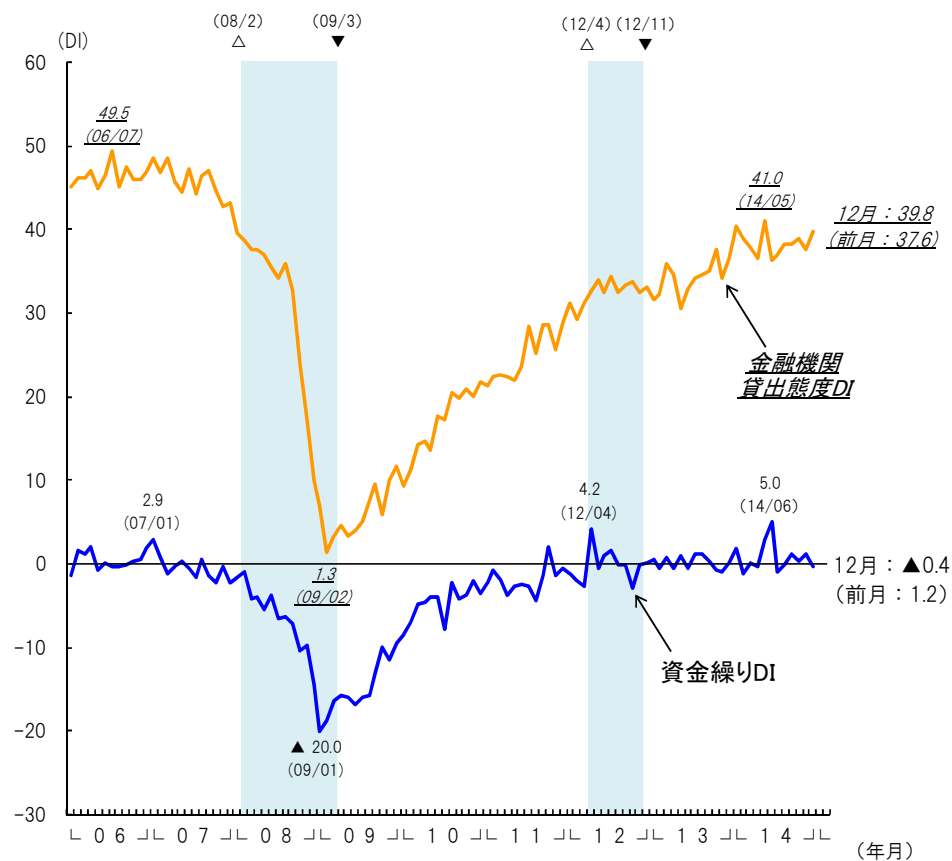


(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、▲0.4と、前月から1.6ポイント低下した。

○貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、39.8と、前月から2.2ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



- (注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。